

令和4年度 札幌支部高等学校春季テニス大会実施要項

(要項は3ページまで、4～5ページにコロナウイルス感染予防に関わり留意事項等を記載しております。ご確認ください。また、要項の郵送以降、顧問会議・秋季大会の開催有無などについては、高体連札幌支部テニス専門部ホームページにて周知いたします。小まめに確認してください。)

1. 主 催 札幌テニス協会、高体連札幌支部
2. 期 日 令和4年4月23日(土)・24日(日)・29日(木祝)・30日(土) [予備日5/1(日)]
大会期間中は8:20 監督連絡会・8:30 試合開始
3. 会 場 モエシ沼公園庭球場、稲積公園庭球場、(ほか各高校テニスコート)
4. 参加資格
 - ・北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校に在籍し、平成15年(2003年)4月2日以降に生まれた者であること。
 - ・同一学年での出場は1回限りとする。
 - ・転校後6ヵ月未満の者の参加は認めない。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、高体連札幌支部テニス専門部長の許可があればこの限りでない。(高体連支部大会は高体連札幌支部長の許可)
 - ・北海道テニス協会に登録していること。
 - ・「主催大会参加者災害補償制度」に加入した者、または加入の意志のある者。

・高体連札幌支部テニス専門部に選手登録していること。(令和4年度更新・新規登録は、専門部HPからDLして、データを専門部へメールしてください)
(令和2年度より選手に支部テニス専門部の登録番号を付け運営しています)

↑ HPはこまめに確認をお願いします。顧問が変わる場合は引き継ぎを!!

5. 申込方法 高体連札幌支部テニス専門部ホームページで
 - ・現在のランキングポイント(3月31日までに更新予定)を確認してください。
なお、ランキングポイントにご不明な点があれば専門部に連絡をください。
 - ・4/6(水)以降にメールでお申し込みください。締め切りは4/11(月)13時。
[HP アドレス <http://tennisen.link/>「高体連札幌支部テニス専門部」で検索できます!]

① トップページから「大会要項など」をクリック

② 「参加申込書」のファイル(xlsx)をダウンロード

③ 必要事項を入力したファイルを添付して送信

✓ メールの件名は 『春季申込・学校名・男or女・顧問名』

✓ 添付ファイル名は 『学校名 男or女』

<注意>同じ申し込みが複数回送られてくることがあります。また、稀に開けない状態のファイルが添付されている場合があります。必ず確認の上、送信してください。

※ 昨年の大会に参加した学校が**出場しない場合**、メール等で連絡をいただくと助かります。

※ 昨年度より、メールの申し込みをもって**正式な受付**としています。送信前に何度も確認をお願いします。申込期限後の訂正は受け付けられない場合があります。

※ 職印付き参加申込書は**顧問会議時に必ず持参**し、提出してください。

※ 参加申込書をホームページからダウンロードし、お使いください。

※ 「外部指導者」は年度毎に申請が必要です。申請書(HPからDL)も顧問会議時に提出してください。外部指導者のベンチコーチは可となっています。

6. 参加料 (1) 団体の部 1校 (男女各) 7,000円
(2) 個人の部 シングルス(1名) 1,800円 ※ 男女フルエントリーの場合は
ダブルス(1組) 1,800円 32,000円となります。

参加料の徴収について

振込先は郵送された要項に記載されていますので、そちらをご覧ください

7. 使用球 男女とも「ウィルソン・USオープン・エクストラ・デューティ」

「団体の部」に出場する学校は6個(3缶)を大会当日持参してください。団体の部の試合を行う際に、各学校がそのボールを持ち寄り、試合終了後勝った学校は未使用球を、負けた学校は使用球を持ち帰ってください。

8. チーム編成および競技方法

【団体の部 トーナメント】

- ① ダブルス1組、シングルス2名の対抗トーナメントとし、6ゲーム1セットマッチを原則とします。なお、6ゲームズオールの場合は、ITF方式タイブレーク(7ポイント先取)を採用します。また、初回戦から勝敗が決まり次第打ち切りとします。
- ② シングルスの実力順位(ポイントがある場合はポイント順)でNo.1からNo.5までの5人を登録することができます。ダブルスは5人の中から任意に1組作り、シングルスは残り3人のうちどの2人が出場してもよいが、登録の順位に従ってオーダーを提出しなければなりません。シングルスとダブルスを同一選手が兼ねることはできません。
- ③ 試合はダブルス→シングルス1→シングルス2の順で行い、2勝したチームを勝ちとしますが、大会運営上、複数の試合を同時に行うこともあります。

(2) 個人の部

ア ダブルス2組、シングルス3名を上限とし、実力順(ポイントがある場合はポイント順)に申し込んでください。(団体の部に登録していない者の参加も認められます。この場合、団体登録されている選手より下位のエントリーとなります。)

イ ダブルス・シングルスともトーナメントとし、6ゲーム1セットマッチを原則とします。なお6ゲームズオールの場合は、ITF方式タイブレーク(7ポイント先取)を採用します。

9. 顧問会議 4月18日(月) 13:30

札幌市生涯学習センター(ちえりあ)6階講堂 札幌市西区宮の沢1条1丁目

※ 抽選・会場の割り振り、他諸連絡がありますので必ずご出席ください。なお、コロナウィルス感染症予防の観点から1チームにつき顧問の先生1名(男女部両方がある学校は、各々1名ずつ)がご出席ください。顧問の先生がどなたも出席できない場合は、北海道札幌西陵高校 内山までご連絡ください。

10. その他

- (1) 個人の部（特にシングルス）にエントリーしていない選手を団体の上位（No.1）に登録する場合、その理由をメール等でお知らせください。原則、明確な理由（ポイント等）が無い場合は認められません。
- (2) 登録変更・選手変更は、「怪我・忌引き・コロナ関連」等、真にやむを得ない場合にのみ認められます。
 - ・ 団体の部の登録変更および個人の部の選手変更については、その種目の初日の朝の顧問打ち合わせ（団体、シングルスとダブルスの初日が離れている場合は、それぞれの初日の朝の顧問打ち合わせ）までとします。
 - ・ 変更は、校長印を押した選手変更届（変更理由が書かれたもの）の提出を必要とします。
※ 選手変更届の提出は大会後でも構いません。様式はHPよりダウンロードできます。
- (3) 団体の部で外部指導者（コーチ）の監督登録、及び、ベンチ入りが可能です。
 - ・ 外部指導者とは、全国高体連の規定により「非常勤講師、スポーツクラブ指導者、社会体育指導者、当該校の卒業生・保護者等で学校長が認めた者」であり、「傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）」に加入していることが義務づけられています。
 - ・ 申請書の提出がない場合、外部指導者のベンチ入りは一切認められません。また、一人の外部指導者が複数校の外部指導者として申請することはできません。
 - ・ この規定については、全国高体連の規定からも、各都道府県における規定を定めることが認められておりますので、今後、道専門部が不適当と判断した場合には、内容の改正が審議されることがあります。
- (4) 審判は原則として直前の試合の敗者本人がそれにあたるものとします。初回戦については、シードや初回戦の無い選手を中心に、本部より別途指名します。なお、**審判方式はSCU（1人審判制）**となります。ガイドブックをホームページに掲載しておりますので、事前に必ず顧問の先生は部員とともに確認をお願いします。併せて**スコアシートの記入**もできるようにご指導ください。（※審判方式変更の可能性あり）
- (5) コートには競技者とシングルスでのボールパーソン以外入ることはできません。ただし、団体の部では、登録された監督（複数面展開においても、ベンチに入ることができるのはいずれか1名のみ）または登録選手がベンチに入る事ができ（各コート1名まで）、奇数ゲーム終了後のエンドチェンジ 90 秒の間に限ってコーチングを行うことができます。これを除くいかなる場面でも、コーチングは一切認められません。
 - ・ 選手は、ボールパーソンおよびコート外の応援者と声をかわすことは認められていません。
 - ・ ベンチコーチのプレー中の移動や、ベンチから他のコートへの応援・コーチング等は慎んでください。
- (6) 団体の部・個人の部とも練習は、左右サーブ2本ずつとします。
- (7) 選手の服装はテニスウェアとし、校名札を腰の見やすい位置に付けてください。
- (8) ガットマークは禁止します。
- (9) 団体・個人の部ともに3位決定戦を行います。5～8位決定戦については、実施する予定です。
- (10) 表彰は、団体・個人の部のベスト4までとします。
- (11) 個人の部シングルスの試合会場には、選手の他にボールパーソン・敗者審判を行う生徒をできるかぎり同行させてください。（※コロナの状況により変更の可能性あり）
- (12) 部員全員（マネージャーを含む）が「主催大会参加者災害補償制度」に加入することを義務づけられています。
- (13) 団体戦を優先し大会を行います。
- (14) 新型コロナウイルス感染症に関わり、状況によっては北海道および高体連札幌支部から顧問会議の中止、春季大会競技種目の運営方法について変更や中止の要請もあり得ます。変更等がある場合は、メール（部員登録時のメールアドレスへ送信）またはFAX、および、専門部ホームページで周知いたします。
- (15) **各チーム顧問の先生は、大会開催に当たっての感染予防対策に関する留意事項（4～5ページ）について、大会参加生徒（選手・応援）の保護者にも確実に周知し、参加の同意を得てください。また、協力を得られない参加者には、他の参加者の安全を確保する観点から大会への参加取消や途中退場を求めることがあり得えます。**

新型コロナウイルス感染予防対策に関する留意事項

高体連札幌支部テニス専門部 2022年3月

大会参加する各学校の顧問の先生、監督、参加生徒（出場生徒・応援生徒）およびその保護者は、この留意事項を十分に確認した上で参加すること。（各校、この留意事項を保護者に渡し、同意書を得ること。）協力を得られない参加者には、他の参加者の安全を確保する観点から大会への参加取消や途中退場を求めることがある。

（大会前）

- ① 大会2週間前からの体温チェックを一覧表に残しておく。引率責任者の先生は部員全員の体温チェック一覧表を大会初日に専門部へ提出する。
- ② 【選手が通う学校で感染者が発生した場合】学校の措置が最優先であることを基本に、休校にあった場合は原則その学校は大会を辞退する。休校にならなかった場合でも、選手が感染しているなど、その状況によって判断し、辞退となることもあり得る。
- ③ 【チーム内で感染者が発生した場合】
 - ㊲ 保健所に相談するとともに高体連札幌支部事務局、高体連札幌支部テニス専門部に報告する。下記以外にも様々な事象があることから指導者のみで判断せず、関係各所にアドバイスを受け総合的に判断をする。また、感染者が発生した場合は、高体連札幌支部などの関係団体と協議の上、チームの活動停止、大会出場停止などの判断を下すことがある。
 - ㊳ 指導者及び選手が感染した場合、その本人を活動停止（完全に治癒するまでの期間）とする。
 - ㊴ 指導者及び選手が濃厚接触者として指定された場合、PCR検査が健康観察期間が終わるまでは活動を停止する。
 - ㊵ 指導者及び選手の同居人が濃厚接触者でも、本人が濃厚接触者として指定されず、しかも症状がない場合は活動可能とする。
- ④ 誰が、いつ、どこで感染してもおかしくないという共通認識をもって、偏見などが起こらないように対応すること。感染者や濃厚接触者が出ることで、プライバシーの問題やチーム内での孤立が往々に起こる可能性があり、十分に理解を得られてから活動をすること。

（大会移動時）

- ① 公共の交通機関での移動は、換気や密集しないよう十分に気を付ける。
- ② 移動の際は最小限の人数とする。
- ③ 席に余裕がある場合は、できるだけ間隔を空けて座る。
- ④ マスクを着用する。
- ⑤ 必要最低限の会話以外は行わない。

（大会会場）

- ① 大会期間中、引率責任者の先生は、引率部員全員分の「大会当日メディカルチェック一覧表」を毎朝専門部へ提出すること。（この提出をもって保護者の同意を得たものとする）
- ② 発熱・咳・倦怠感・咽頭痛・嗅覚味覚の異常がみられる生徒や大会関係者は会場内への立ち入りを禁止する。

- ③ 大会会場での人数制限の関係で、チーム部員と引率顧問および監督以外が会場に入ることができないことを保護者やテニス関係者等に確実に伝え、理解をしてもらうこと。
- ④ 大会会場内に入出入りする者は、**マスクの着用を義務付ける**。(熱中症の心配のある場合は、個々の判断でマスク脱着を認めるが、他者との間隔を2m以上確保すること。)また、大きな声で会話をしないこと。
- ⑤ 専門部本部前で消毒用アルコールを用意するが、各チームに手洗い用ハンドソープ・消毒用アルコール・除菌シートなどの持参を義務付ける。(来場の生徒へ個々に用意するよう指示する。)
- ⑥ モエシ沼、稲積テニスコートのクラブハウスへの立ち入りは、トイレの利用に制限し、マスク着用を義務付ける。各自、密にならないよう十分に気を付ける。更衣室の利用は原則不可となる。
- ⑦ 食事等は開放空間で行う。近接や向かい合っでの食事は避け、会話は控えること。飲料は自分が用意したもの以外は絶対に飲まないこと。ゴミはすべて各自が持ち帰ること。
- ⑧ 選手への応援は拍手のみとし、大声での声援や声掛けは厳に慎むこと。他者との距離を前後2m(最低1m以上)以上の間隔を空けて座る。
- ⑨ チームで**円陣を組むことは禁止する**。ミーティングは密にならないよう配慮し、長時間行わないこと。
- ⑩ 大会役員は、定期的に会場内を巡回する。

(ベンチ及びコート)

- ① ベンチの椅子・審判台等は試合前後に各チームで消毒除菌をする(除菌シート等を持参する)。
- ② 試合開始時の挨拶、オーダー交換、終了時の挨拶時は、全員マスクを着用し、大声をあげての挨拶を控え、しっかり礼を行う。**握手はしないこと。**
- ③ コート、ベンチでの咳やくしゃみは腕等で口や鼻を覆う。
- ④ ダブルスで、インプレーでない時間の最小距離はラケットタッチできる程度までとし、会話は必要最小限の内容を短時間で済ませること。
- ⑤ ハイタッチ等接触することを禁止する。
- ⑥ タオルなどは自分のものを使用し、絶対に共用をしないこと。
- ⑦ 審判、ボールパーソンはマスクを着用すること。(熱中症の心配のある場合は、マスク脱着を認める場合もある。)
- ⑧ 試合終了後は、選手、審判は必ず「手洗い(30秒以上)」、「うがい」、「水分補給」を行うこと。

(大会後2週間)

- ① 大会後2週間は引き続き体温チェックを行い、経過を記録しておく。(状況によっては専門部・関係各所への提出が求められることもある)
- ② 引率顧問・参加生徒が新型コロナウイルス感染症と診断された場合は、すみやかに関係各所(学校長・札幌支部専門部・各会場管理者)に連絡し、濃厚接触者の有無を報告すること。